

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

観光政策課（内線：7221）→事業実施：国際観光推進課

1 目 観光費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
世界へ打って出る“とっとり”国際観光推進事業（外国人観光客誘致推進事業）	(88,508) 58,300	(55,120) 55,120	(33,388) 3,180			(30,208)	(58,300) 58,300	
トータルコスト	94,606千円（前年度98,202千円）[正職員：4.5人、非常勤職員：1.0人]							
主な業務内容	諸外国での広報宣伝、旅行商品の造成・販売促進支援、海外プロモーションに必要な人員配置、国際チャーター便誘致、隣県との広域連携事業							
工程表の政策目標(指標)	米子ソウル国際定期便、DBS国際貨客船、国際チャーター便等を活用して外国人観光客の誘致を促進する。							

※上段()内の数値は商工労働部の緊急雇用創出事業計上分を含む額

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

諸外国から鳥取県を訪問する観光客を増やすことにより、県内観光消費額を増加させ、もって本県の観光産業の振興及び、米子ソウル便、環日本海定期貨客船などの国際交通インフラの維持・発展につなげる。

2 主な事業内容

区分	予算額	内 容
(1) 諸外国での観光情報発信		
広報宣伝	22,300	・韓国、台湾、ロシア、香港、タイ等の新聞、雑誌、テレビへの広告掲載料等 (新) ロシアブロガーの招へい経費
旅行会社等による視察ツアー実施	5,330	・旅行商品の造成、観光宣伝のための、韓国、台湾、ロシア、香港、タイ等の旅行会社、メディア等の招へい経費
(2) 旅行商品の造成・販売促進等への支援	8,000	(新) 外国人観光客誘致対策事業補助金 島根県と共同で、米子ソウル便及びDBS貨客船を利用した旅行商品を造成・販売する旅行会社に対してバス代を支援 ＜山陰国際観光協議会への助成＞
(3) 海外プロモーションに必要な人員配置	4,099	(新) 観光客誘致ソウル駐在員設置委託料
(4) 国際チャーター便の誘致	1,250	・運航会社とタイアップした広報宣伝経費
(5) 隣県等との広域連携事業	11,980	(新) 中国地区広域観光検討部会への負担金 (新) 関西国際空港内観光案内所整備運営協議会への負担金（関空から本県へ観光客を誘導） ・香港観光客誘致事業負担金(岡山県と連携) ・山陰国際観光協議会への負担金 ・その他、中国地区各県や香川県、京都府、兵庫県と連携した諸外国への広報宣伝
(6) 事務費等	5,341	・職員旅費等
合 計	58,300	

※(別途)緊急雇用創出事業活用事業

(1) 外国人観光客誘致対策事業	外国旅行会社等の視察ツアーの案内、各種観光資料やモデルルート企画・作成・翻訳ができる推進員を民間企業・団体に委託して配置(1名)＜ロシア語対応ができる者＞
(2) 新たな国際観光市場へのプロモーション強化事業	新規市場(ロシア・東アジア・(韓国・台湾を除く))への観光プロモーションを行うスタッフを配置(1名)＜観光政策課内＞
(3) 世界に通用する“とっとり”国際観光資源発掘・情報発信	外国からの個人観光客を増やすため、地域素材の発掘、情報発信、旅行商品造成・販売まで一体的に行う事業を民間委託(新規雇用3人)

3 これまでの取組状況・改善点

- (1) 韓国、台湾、ロシア、香港、タイ等における新聞広告・新聞雑誌記事・テレビ番組や博覧会出展などによる広報宣伝。新年度は各国での認知度向上のための取組を強化
- (2) 外国人観光客誘致対策事業補助金による米子ソウル便を利用した誘客促進
新年度は、島根県と経費を負担し合いながら実施するとともに、DBS貨客船も対象に追加
- (3) 旅行商品化・情報発信のための旅行会社・メディア等の招請
- (4) 周辺府県との連携した中国や香港、台湾などからの誘客促進。新年度は、中国5県での取組を強化するとともに、関西国際空港内に観光案内機能を設置するなど、誘客促進を図る。等